放課後等デイサービス：なごみの家　支援プログラム

2026/1/14　作成

法人理念	わたしたちは、一人ひとりが主体的な生活が出来るように支援します。		
支援方針	①一人ひとりの発達、成長のみならず、本児やご家族の思いに寄り添った支援をアプローチで実践します。		
	②地域の一員である事を意識できるような活動を提供し成長を促せるように支援します		
	③心身の状況をご家族と共有し安心した利用が出来るように支援します。また、日頃からのコミュニケーションや接遇に配慮する事で信頼関係を図ります。		
営業時間	放課後時間：14時～18時	休校日：8：30～16：30	送迎エリア内あり

支援内容

健康・生活	・基本とする手洗いうがい習慣化できるよう努め、入室時には検温と表情を確認します。 ・飲食等の誤嚥また、誤飲が無いよう小さなサインに気付けるよう観察をします。 ・感染症対策や体調管理では、家庭での生活の様子が伺える様、保護者との関わりを大切にします。 ・施設内の活動室、遊び道具の衛生保持に努めます。
運動・感覚	・運動が出来るような仕掛けづくり、外遊び、散歩を行います。 ・遊びを通して、バランスや感覚、視覚、聴覚等、五感を楽しめる工夫を行います。 ・工作・CD鑑賞・鬼ごっこ・ボール投げ・バランスボール・シャボン玉・水遊び・足湯等
認知・行動	・活動のスケジュールに沿って、時間が読め、周囲の行動を感じ取る、声掛けが必要な子どもの個々に合わせ、支援を行います。　・ 個々のアセスメントに合わせ、視覚や構造化を取り入れた支援を行います。 ・取り組みの時間を設け、色、形、数字、グラム、絵合せ等の活動を提供します。 ・強い拘り行動等、関わり方の統一支援を行います。
言語・コミュニケーション	・言語でのコミュニケーションが苦手な方に、絵や写真を使用し視覚支援を行います。 ・終礼では、個々に発表する時間を設け「なごみの家で、楽しかった事、頑張った事」を発表していただき、言語の組み立てや活舌、言葉の気持ちを汲み、発表後は拍手をし、子どもの肯定感に繋げて行きます。
人間関係・社会性	・スーパーへ買い物や外食、日帰り旅行、散策、他事業所との交流へ出かけます。 ・遊びの中で「貸し借り、誘う、仲間に入る、終わる」と、支援員が仲介に入り楽しく遊べるよう行います。　また、一人遊びからみんなで遊べるような工夫を行います。 ・工作品やイベントでみんなでやる事の大切さを感じられる様に支援します。 （季節にあった作品作り・納涼会・お神輿・ハロウィン・クリスマス会等）

家族支援	・ケア会議や個別相談以外でもモニタリング会議の中で、児発管がいつでも相談を承るよう周知しています。 ・年間、約12回程の土曜日営業をし、レスパイトやヤングケアラーの防止へ繋げます。
移行支援	・環境に合った施設、学童への移行。就労先へ向けての支援と情報の提供。
地域支援 ・ 地域連携	・近隣施設合同のイベントを行っています。 ・地域のイベントや公民館、公園、レストランを使用し公共の場へ参加しています。 ・他事業所との交流。
職員の質の向上に資する取り組み	・毎年、事業所評価や保護者アンケート実施し改善に努めます。 ・ 外部研修や内部研修に積極的に参加し、ミーティングでは研修報告を行って職員間で共有をしています。 ・拘束、虐待防止の業務振り返りチェックをし検討を行っています。
主な行事等	・花壇整備・水遊び・七夕・納涼会・日帰り旅行・ハロウィン・クリスマス望年会・豆まき・年度末慰労会等 ・調理実習（年１０回程）・昼食づくり（年2回程）・外食（3回程）